

資料 1

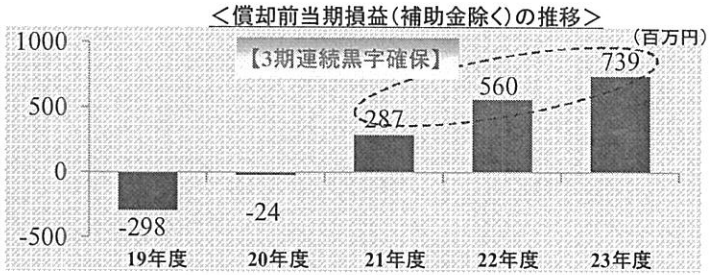


平成23年度決算について

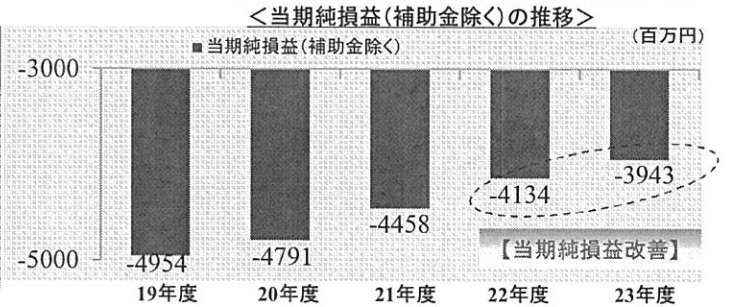
 埼玉高速鉄道株式会社
Saitama Railway Corporation

● エクゼクティブ・サマリー①

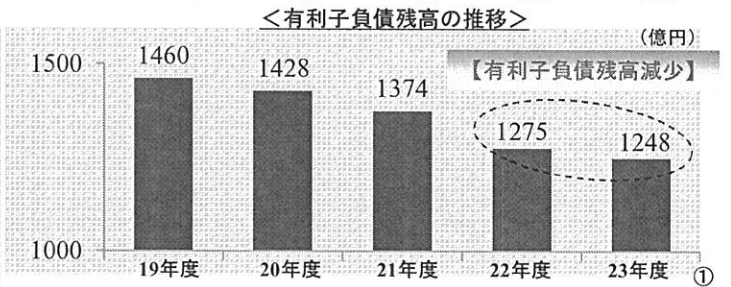
① 償却前当期損益 (補助金除く)
黒字確保 (3期連続)
7億39百万円



② 当期純損益改善
1億91百万円 (対前年度比)

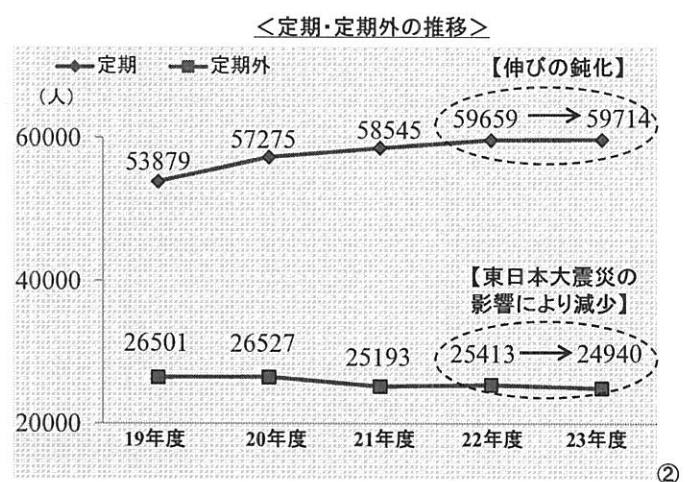
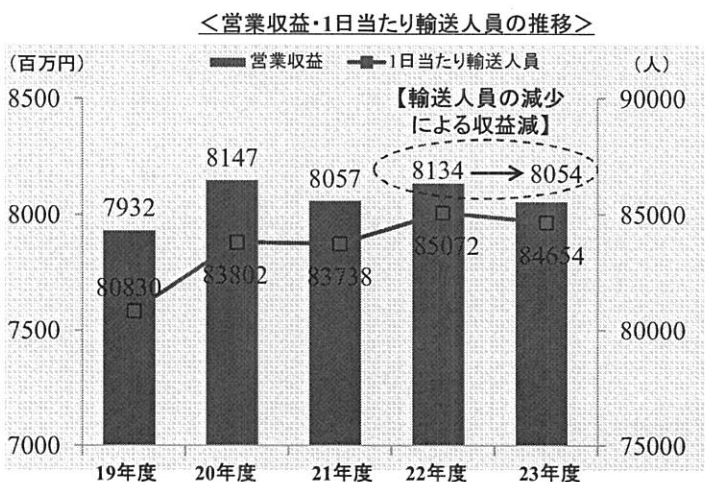


③ 有利子負債残高減少
27億13百万円 (対前年度比)
(23年度末1,248億円)



● エクゼクティブ・サマリー②

④ 営業収益減少 79百万円 (対前年度比)
1日当たり輸送人員減少 418人 (対前年度比)
(定期)55人増加 (定期外)473人減少



● 第21期決算実績

(単位:百万円)

	23年度	22年度	増減	増加率
営業収益	8,054	8,134	▲79	▲1.0%
営業費	9,925	9,970	▲45	▲0.5%
営業損益	▲1,870	▲1,835	▲34	▲1.9%
営業外収益	47	29	18	60.9%
営業外費用	2,113	2,310	▲197	▲8.5%
特別損失	0	13	▲12	▲97.7%
法人税等	7	4	2	51.6%
当期純損益	▲3,943	▲4,134	191	4.6%

償却前当期損益(税引前) 【参考】	739	560	178	31.9%
----------------------	-----	-----	-----	-------

③

● 営業収益の内容

営業収益

(単位:百万円)

	23年度	22年度	増減	増加率
運輸収入	6,411	6,439	▲27	▲0.4%
(定期)	3,812	3,800	11	0.3%
(定期外)	2,599	2,638	▲39	▲1.5%
運輸雑収	1,642	1,695	▲52	▲3.1%
合計	8,054	8,134	▲79	▲1.0%

(単位:人/日)

輸送人員(参考)	84,654	85,072	▲418	▲0.5%
----------	--------	--------	------	-------

- 運輸収入: 東日本大震災、サッカー利用者の落込みなどによる定期外客減により減少
- 運輸雑収: 節電での運転本数の見直しにより車両使用料収入(前期比▲33百万円▲2.6%)、広告収入(前期比▲10百万円、▲9.2%)などが減少

④

● 沿線開発の状況

沿線人口の状況

(単位:人)

	22.1.1	23.1.1	24.1.1
沿線人口	467, 238	470, 205	471, 726
対前年増加率	0. 9%	0. 6%	0. 3%

沿線土地区画整理(10地区)の人口

(単位:人)

	合計	さいたま市内 (5地区)	川口市内 (5地区)
計画人口	71, 070	41, 700	29, 370
人口(24.3.31)	27, 252	5, 544	21, 708
対計画人口率	38. 3%	13. 3%	73. 9%

※人口(24.3.31)のうち、集計のまとまっていない2地区については、22年度末(23.3.31)のデータを使用しております。 ⑤

● 営業収益①(増客対策)

増客対策

【企画乗車券】

(発売枚数、単位:枚)

	23年度	22年度	増減	増加率
OSR東京メトロパス(年間)	30, 676	29, 883	793	2. 7%
Oしらこぼと往復割引セット 乗車券(夏休み期間)	3, 032	4, 666	▲1, 634	▲35. 0%
O一日乗車券 (大人660円、小児330円)	3, 165 (計32日間)	128 (計3日間)	—	—
OSR往復割引乗車券【新】	159 (計11日間)	—	—	—

● 営業収益②(増客対策)

増客対策

【イベント開催、サポート】

(来場者数又は参加者数、単位:人)

	23年度	22年度	増減	増加率
○車両基地見学会(1回)	2, 146	3, 019	▲873	▲28. 9%
○沿線ハイキング	3, 071 (計3回)	3, 481 (計4回)	▲410	▲11. 8%
○埼玉B級ご当地グルメ王 決定戦 (10周年記念事業(1日))【新】	25, 000	—	—	—
○第72回秋の安行 花植木まつり&大盆栽展(3日間) 【新(共催)】	37, 269 (外国人72名含む)	30, 551	6, 718	22. 0%

⑦

● 営業収益③(増収対策)

増収対策

【オリジナルグッズ】

売上(万円)

○**新**レッズコバトンシリーズ(9種類)

1, 236

- ・2011ユニフォームぬいぐるみ(ラージ・スタンダード・ミニ・ミニミニ)
- ・ICカードケース
- ・リボンマグネット
- ・その他(ネックストラップ・Tシャツ・絵馬)

売上(万円)

○**新**鉄道むすめ(3種類)

73

- ・スタンプ
- ・ステッカー
- ・プレミアムフィギュア

賃料(万円)

【社有地の活用】

○東川口駅構内への店舗誘致(セブンイレブン)8月26日～

241

⑧

営業費

(単位:百万円)

	23年度	22年度	増減	増加率
人件費	1,591	1,604	▲12	▲0.8%
経費	3,060	3,067	▲6	▲0.2%
諸税	597	608	▲11	▲1.8%
減価償却費	4,675	4,690	▲14	▲0.3%
合計	9,925	9,970	▲45	▲0.5%

- 人件費:プロパー化の推進による出向社員の削減等により減少
- 経費:電力料金(燃料調整費)の引上げにより電気料金が増加したものの、節電に伴う運転本数の見直しにより車両使用料が減少
- 諸税:減価償却の進捗により固定資産税が減少
- 減価償却費:減価償却の進捗により減少

⑨

● 営業費①(安全対策)

安全確実な運行、適確なメンテナンス

【施設整備等】	【対前期比】
○車両全般検査(1編成減)	49百万円減
○電気設備保守	39百万円減
○ホームドア大規模修繕	28百万円増
○電気料金	26百万円増

(参考)【訓練の実施】

- 列車火災合同訓練【12月】
トンネル内における列車火災で停止した状況を想定した避難誘導訓練
- 列車停止手配訓練【3月】
地震発生時を想定した走行中の列車に対する停止手配訓練

⑩

● 営業費②(経費削減)

経費削減の実行

【人件費の削減】

○出向社員の減によるプロパー化推進等 ▲12百万円

【比率】(参考)

・プロパー社員比率 96.6%【前期:94.1%】

・出向社員比率(6名減) 3.4%【前期:5.9%】

【経費の削減】

○保険内容の見直し 前期比 ▲527万円

ー「企業費用・利益総合保険」(事故による喪失利益等を補償)の解約 ▲321万円

ー「施設賠償責任保険」(施設等の瑕疵などに起因する第三者への損害を補償)の切替え等 ▲206万円

⑩

● 営業外収益・費用の内容

営業外収益

(単位:百万円)

	23年度	22年度	増減	増加率
受取利息	12	21	▲8	▲38.9%
その他	34	8	26	313.4%
合計	47	29	18	60.9%

■受取利息:預金額の減少及び金利の低下により減少

■その他:車両検査に係る他社との過年度分の精算金が増加

営業外費用

(単位:百万円)

	23年度	22年度	増減	増加率
支払利息	2,070	2,260	▲189	▲8.4%
その他	42	50	▲7	▲15.7%
合計	2,113	2,310	▲197	▲8.5%

■支払利息:借入残高の減少及び金利の低下により減少

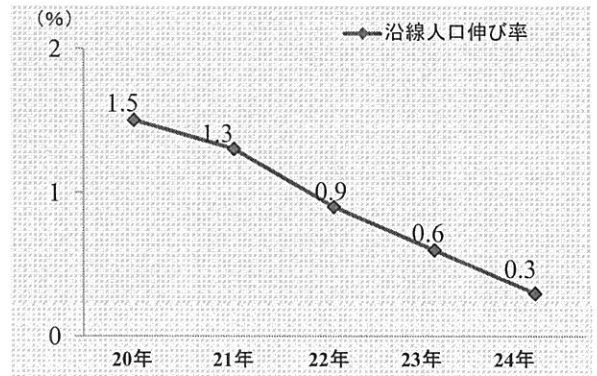
■その他:支払利息などに係る鉄道・運輸機構との過年度分の精算金が減少

⑪

● 経営上の重要課題と対策①

<沿線人口伸び率の推移>

① 定期利用者の伸びの鈍化
➤ 沿線人口の伸びの鈍化



※各年1.1の沿線人口による伸び率(前年比)。

○ 県・2市による沿線開発の推進をサポート

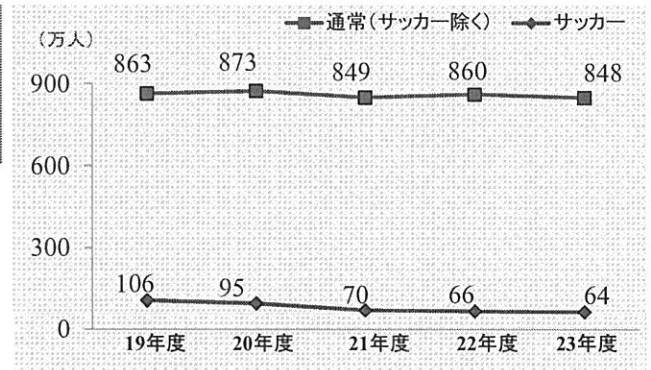
- ・一般への保留地(住宅向け)・企業への保留地(企業向け) 情報提供などのサポート

⑬

● 経営上の重要課題と対策②

<通常(サッカー除く)・サッカーの推移>

② 定期外利用者の減少
➤ サッカー利用者等の減少



○ ブランディングプロジェクトによる沿線観光資源等の積極的なPR

○ 自社イベント(ハイキング等)の工夫と積極的なPR

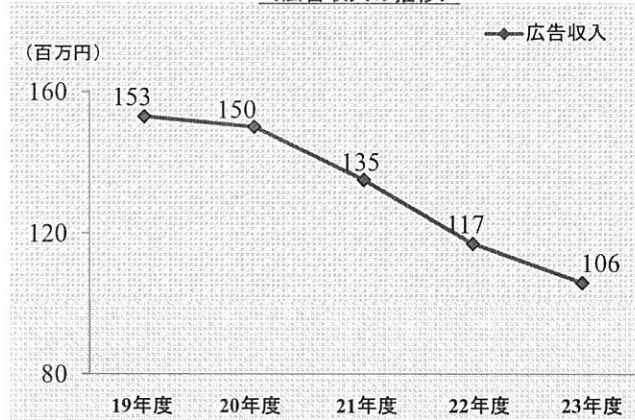
○ 企画乗車券の発売による沿線施設へのアクセス定着化

⑭

③ 関連営業収入の減少

➤ 広告収入の減少

＜広告収入の推移＞



○ SR新規事業企画等の推進・充実

- ・沿線資源を活用した新規事業企画の推進
- ・新商品開発による商品ラインアップの充実

15



E N D